

大阪行政相談委員協議会機関誌

あし

平成30年9月

第33号



CONTENTS

〔巻頭言〕 「安心・支え合い最優先」「子育てしやすさ日本一」「緑・住みやすさ最先端」を3本柱に	
.....	箕面市長・倉田 哲郎 2
〔寄稿〕 地方組織の再編に当たって	近畿管区行政評価局長・角田 祐一 3
〔平成30年度行政相談委員全体会議から〕	近畿管区行政評価局行政相談課 4
〔寄稿〕 和歌山市における私の行政相談委員としての取り組み	和歌山地相協（和歌山市）・松島富紀子 6
〔委員活動報告から〕 行政の制度・運営の改善を求める委員意見の例	
大阪市旭区・五島 常武、枚方市・堀岡 良之、寝屋川市・楠 好子、富田林市・榊原 壽幸	 7
大阪市東成区・谷口 裕洋、吹田市・寺辻 健治、千早赤坂村・葛本 徹雄、吹田市・渡邊 達雄	 8
〔自己紹介〕 新任委員さんこんにちは!!（平成29年4月2日から30年5月1日までの委嘱委員）	 9
北摂支部 : 橋本 和正（豊中市）、石田 望（豊能町）	
河内第2支部：森川 昌幸（藤井寺市）	
〔特殊詐欺被害防止啓発記事〕	大阪府警察本部 9
〔地相協研修会〕 「大阪経済の復権に向けて」	 研修委員長・野上 俊二10
〔各委員会からの活動報告〕	
研修委員会の活動について	研修委員会副委員長・辻谷 俊吉11
編集委員会の活動について	編集委員会副委員長・今井 藤子11
相談業務委員会の活動について	相談業務委員長・土原 直美12
広報委員会の活動について	広報委員長・羽田 清彦12
ホームページ運営委員会の活動について	ホームページ運営委員会副委員長・渡邉美代子13
男女共同参画委員会の活動について	男女共同参画委員長・岩井 利春13
〔自主研修会〕	
大阪第1支部	大阪市城東区・松浦 隆行14
大阪第2支部	大阪市東住吉区・乾 敦子14
北摂支部	茨木市・上田 文章15
河内第1支部	交野市・柊 宜 悟15
河内第2支部	羽曳野市・横田 清継16
泉州支部	堺市美原区・高岡 一平16
.....	（大阪第1支部）・豊田 恭三17
.....	（大阪第2支部）・春元 靖弘17
.....	（北摂支部）・岩井 利春18
.....	（河内第1支部）・山本 道隆18
.....	（河内第2支部）・加藤 光男19
.....	（泉州支部）・奥野ひろみ19
ショート・ショート	石川 忠秀（大阪市港区）、西村 譲治（大阪市生野区）、阪上 宏平（池田市）
【最近、読んだ本】	讃岐 信子（守口市）、脇田 久（太子町）、櫻井 好美（和泉市）20
〔大阪あれこれ〕（第三回） 淀川舟運歴史探訪	編集委員・交久瀬和広21
〔私の住む町〕 〈MY TOWN 岸和田市〉	岸和田市・池田 忠司22
〈MY TOWN 大阪市西区〉	大阪市西区・足立 義昭23
編集後記	24

特集

「心に残る人」

ショート・ショート 【最近、読んだ本】

▶〔題字〕

總本山四天王寺
出口常順 元管長 揮毫

▶〔表紙写真〕翁橋

写真は堺区の旧土居川に架かっていた「翁橋」です。安政2年(1855年)に建設されましたが、昭和40年代の阪神高速道路建設時に川が埋め立てられた際に、この橋の破壊を惜しんだ民間会社が移設し、現在もその会社の敷地内に保存されています。
現在も翁橋町の地名にその名をとどめており、翁橋があった土居川公園には道標が建立されています。

写真と文：堺市市長公室広報部市政情報課

巻頭言



「安心・支え合い最優先」「子育てしやすさ日本一」 「緑・住みやすさ最先端」を3本柱に

箕面市長 倉田 哲 郎

大阪行政相談委員協議会の皆さまには、平素から箕面市政全般にわたり格別のご理解とご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

常々、市民からの多種多様な相談や要望等に対し、迅速かつ的確にご回答、ご助言をいただき、住民生活の向上に大きく寄与されておられますことに、改めて心から感謝と深い敬意を表します。

さて、箕面市では、「安心・支え合い最優先」「子育てしやすさ日本一」「緑・住みやすさ最先端」を政策の3本柱に、多様な施策を推進しています。

子どもから高齢のかたまで、地域で支え合い、安心して暮らせるまちをめざす「安心・支え合い最優先」の分野では、高齢化がますます進む中、本年は、民間委託の地域包括支援センター4所に加えて市直営のセンターを新設し、よりきめ細かく、認知症対策などを強化したサービス提供を開始しました。また、高齢者だけでなく、生活上のお困りごとを抱えるすべての住民が身近な場所で相談でき、かつ支え手側のつながりの拠点ともなる「福祉相談・交流テラス」創設のモデル事業に着手します。

「子育てしやすさ日本一」では、グローバル化する社会の中で、将来子どもたちが臆することなく外国人とのコミュニケーションに臨めるよう、英語教育に力を入れています。全国に先駆けて全小・中学校、全学年で毎日英語に触れ

る取り組みを始めて4年目、英検3級相当の英語力を有する中学3年生の割合は70.8%となり、全国平均の40.3%を大きく上回る成果を上げています。

箕面市は、大阪都心から約30分、ベッドタウンとしての利便性を有すると同時に、北摂山系の山なみを背景に、市街地にも田園風景の残る豊かな自然が魅力です。現在、都心直結の北大阪急行線の延伸工事が着実に進んでいるところですが、利便性の追求に終始するのではなく、都市魅力の源泉である緑の保全にも全力で取り組み、山麓部への太陽光発電装置の規制条例を制定するなど、先手を打った施策で「緑・住みやすさ最先端」に取り組んでいます。

箕面市は、「住みよさランキング」で6年連続大阪府内1位、全国的には減少傾向の人口も、本市では子育て世代を中心に増加を続けています。今後も、市民の一人ひとりが住みよさを実感し、生き生きと元気に暮らしていけるようまちづくりを進めてまいりますので、行政相談委員の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬお力添えを賜りますようお願いいたします。

大阪行政相談委員協議会のますますのご発展と、皆さまのご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。



地方組織の再編に当たって

近畿管区行政評価局長 角 田 祐 一

※角田局長は、平成30年7月20日付けで総務省行政管理局行政通則法制度研究官に異動されました。

大阪府内の行政相談委員の皆様には、日頃から、行政相談活動や広報活動にご尽力いただき、心から感謝を申し上げます。

とりわけ、大阪行政相談委員協議会では、地域ごとの6つの支部とともに、地域横断的な6つの委員会において、積極的な活動や活発な委員交流が行われています。このことが、前回の平成29年の一斉委嘱替えにおいて、近畿管区局の退任者の割合（7.8%）が全国の局所で最も低かったことにもつながっていると思われます。

さて、私が昨年7月に着任してからもうじき一年になりますが、この間の大きな出来事として、昨年10月1日に地方組織の再編が行われました。

兵庫事務所以外の事務所については、調査業務を管区局に集約し、行政相談と常時監視に特化した現地拠点として「センター」になりました。また、管区局では、これまでの3部体制が、総務行政相談部と評価監視部の2部体制になりました。

私が役所（行政管理庁）に入った翌年の昭和59年10月に組織改革があり、当時、都道府県単位に置かれていた「地方行政監察局」が「行政監察事務所」になりましたが、それ以来の33年ぶりの大きな改革であり、近畿管区局長として担当できたことを感慨深く思っています。

組織再編を契機として、現在、業務改革やオフィス改革を進めています。

オフィス改革には、「職員がリラックスして仕事ができる環境は、業務のパフォーマンス向上につながる」という面もあり、「木質化」（木

の机、イス、壁を使う）という取組があります。このため、木材を利用した机やイスを配置した、「コミュニケーションスペース」を設けて、大阪城公園を借景として、気分を切り替えて、執務や打合せができるようにしました。委員の皆様が当局での会議に早目に来られた際にも、ご利用いただければと思います。

また、組織再編に伴い、行政相談窓口の愛称や、ロゴやキャラクターが6月以降に正式に決定されます。この愛称を、今年度の行政相談週間の広報アピールの目玉として使用するなど、行政相談制度や行政相談委員制度の住民への浸透をさらに図ってまいりたいと考えています。その際には、委員の皆様や大阪行政相談委員協議会のご協力をお願いいたします。

この一年間、委員の皆様には、全体会議・ブロック会議や一日合同行政相談所などで、たいへんお世話になりました。また、各支部の総会・自主研修会や各委員会の活動では、施設の見学や懇親会もあり、有意義で楽しい一時を過ごさせていただきました。

結びに、大阪行政相談委員協議会のますますのご発展と、委員の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

平成30年度行政相談委員全体会議から

～平成29年度行政相談実績などを説明～

平成30年度行政相談委員全体会議（以下「全体会議」という。）及び大阪行政相談委員協議会（以下「地相協」という。）総会が、去る5月18日（金）、ホテルアウィーナ大阪（大阪市）において開催されました。

はじめに、野田聖子総務大臣からの委員の皆様へのメッセージ代読が行われ、その後、角田祐一近畿管区行政評価局長の挨拶がありました。

次に、来賓の松井一郎大阪府知事、吉村洋文大阪市長、竹山修身堺市長、和田吉衛大阪府町村長会副会長（忠岡町長）の方々からの御祝辞をいただきました。

引き続いて、行政相談に功労のあった委員に対して、近畿管区行政評価局長、全国行政相談委員連合協議会会長及び近畿行政相談委員連合

協議会会長からの表彰状・感謝状が贈呈されました。

また、平成29年秋の栄典受章者等の披露が行われました。

受章された委員等は次のとおりです。

◎叙勲

〔平成29年秋〕

大西 健造 委員（八尾市）

旭日中綬章（労働・社会保険振興功労）

池田 正義 委員（泉大津市）

瑞宝双光章（更生保護功労）

葉山 昌男 委員（羽曳野市）

瑞宝双光章（消防功労）



◎平成29年度総務大臣表彰（5名）

網野 康子 委員（大阪市東成区）
檜原 實男 委員（大阪市浪速区）
渡邊美代子 委員（豊中市）
大西 隆子 委員（寝屋川市）
葛本 徹雄 委員（千早赤阪村）

◎桜を見る会（平成30年4月21日）

西村美也子 委員（大阪市中心区）

◎平成30年度近畿管区行政評価局長表彰（8名）

南 秀樹 委員（大阪市都島区）
革島 康雄 委員（大阪市淀川区）
田原 晃 委員（大阪市天王寺区）
石川 勝啓 委員（大阪市生野区）
寺辻 健治 委員（吹田市）
河野 順子 委員（守口市）
加茂 守一 委員（東大阪市）
山村 武子 委員（和泉市）

◎平成30年度近畿管区行政評価局長感謝状（17名）

西川 睦子 委員（大阪市都島区）
三木 一誠 委員（大阪市福島区）
吉原 隆 委員（大阪市福島区）
勝 泰子 委員（大阪市淀川区）
井田 一裕 委員（大阪市東淀川区）
寺本佳世子 委員（大阪市東淀川区）
松本 和子 委員（大阪市天王寺区）
河合 一明 委員（大阪市東住吉区）
天野 治 委員（大阪市平野区）
前川 順子 委員（豊中市）
中谷 久夫 委員（摂津市）
村岡由美子 委員（枚方市）
平井 正文 委員（交野市）
山本 道隆 委員（四條畷市）
仲谷 徳雄 委員（河南町）
山本 能嗣 委員（堺市南区）
坂上 欽也 委員（熊取町）

◎平成30年度全国行政相談委員連合協議会
会長表彰（3名）

由佐 満雄 委員（吹田市）
矢倉 芳彦 委員（河内長野市）
土原 直美 委員（泉佐野市）

◎平成30年度近畿行政相談委員連合協議会
会長表彰（6名）

高田 宏司 委員（大阪市住之江区）
大野 靖彦 委員（大阪市平野区）
箱谷香代美 委員（大阪市平野区）
島 伸行 委員（豊中市）
塚本 公春 委員（守口市）
池田 忠司 委員（岸和田市）

表彰等について、行政相談課長から平成29年度の行政相談業務実績及び平成30年度の行政相談業務計画、行政相談重点方針などについて説明を行いました。

また、総務省では、行政相談を国民の皆様にとって親しみやすく利用しやすいものとするため、行政相談窓口の愛称を「きくみみ」とする予定であることを説明しました。その後、平成30年6月に決定したロゴとマスコット（キクーン）は下記のとおりです。

総務省行政相談センター
きくみみ大阪



地相協平成30年度総会
事業計画・予算案など審議

全体会議終了後、地相協の総会が開催されました。柴谷理事の司会・進行の下、白國会長の挨拶がありました。議案の審議に当たって、池田委員が議長に選ばれ、平成29年度事業報告及び収支決算報告、監査結果報告、平成30年度事業計画案及び収支予算案についてそれぞれ説明、審議が行われ、いずれも原案どおり可決、承認されました。



和歌山市における 私の行政相談委員としての取り組み

和歌山地相協 松島 富紀子（和歌山市）

私の行政相談委員活動は平成9年から始まりました。

和歌山市における定例相談は、6人の委員が3班に分かれて、3か所で実施しています。

私は、毎月、もう一人の委員と共に、人の出入りの多い大型スーパーで定例相談を実施しています。

受け付ける相談は月に0～2件で、内容は行政に関するものよりも民事に関するものが多いです。たとえ民事に関する相談であっても、相談を受ける際には相談者の方の気持ちを大切にするようにしています。

長年、委員活動を行ってきた中で、心に残る相談の一つに、信号機の設置に係るものがあります。

10年以上も前のことですが、地元の小学校に通う児童の保護者たちから、小学校付近の道路に信号機を設置してほしいとの相談を受けました。相談内容を地元の警察署に連絡したところ、信号機を設置してもらえることとなりました。信号機を設置する際には、警察署から点灯式への招待を受け、子供たちと共に出席しました。

また、地域の方々に行政相談制度を周知するため、地元の民生委員の皆様を対象とした行政相談懇談会を開催したり、地元の小学生を対象とした行政相談出前教室を実施したりしています。

出前教室では、小学生の皆さんが内容をよく理解してくれ、学校周辺の相談をたくさん寄せてくれました。寄せられた相談を関係機関に連絡し、改善を図ることもできました。

今後も行政相談制度をより周知するため、地域の方々や各団体様を対象とした啓発活動を地道に行いたいです。

また、委員活動を活発にするためには研修会も大切です。

私が所属している第1地区では、毎年、自主研修会を実施しています。昨年は県から講師を招いて「空き家対策の現状と課題」について学び、2年前は委員同士で活動状況に関する報告と意見交換を行い、充実したものとなりました。

今年1月には県内の委員全員を対象とした全体研修会が実施されました。全体研修会では、法テラスによる身近な法律問題に関する講演の後、三つの分科会に分かれて、空き家問題等をテーマとした事例研究を行いました。研修を通じて委員同士の交流も深まり、充実したものとなりました。

私は今後も行政相談委員として何時も意欲をもって活動に取り組んでいきたいと思っています。また、委員活動を活発に行うために、常に委員同士や、地域との関係を密にするとともに、行政相談センターとの連携を図っていきたいです。



行政の制度・運営の改善を求める委員意見の例



五島 常武
(大阪市旭区)



堀岡 良之
(枚方市)

(委員意見の要旨)

保険薬局で薬剤の交付を受けた際に、お薬手帳を持参していれば支払額が安くなると聞いたが、同手帳を持参していなかったため、支払額が高くなってしまった。平成28年4月に診療報酬が改定され、保険薬局等で薬剤を利用する際にお薬手帳を持参すると支払額が少なくなるように変更されたようであるが、私は、全く知らなかった。病院や薬局内にポスターを掲示したり、保険者から送付される「医療費のお知らせ」にチラシを同封するなどして、上記変更を国民に周知すべきである。

検討結果

本意見については、①厚生労働省が調査した結果では、お薬手帳を保険薬局に持参すると支払額が安くなることについて約3割の患者が認知しておらず、十分な周知が図られていないと考えられること、②現在、中央社会保険医療協議会において、適切なお薬手帳の活用の推進に向けた方策について検討が進められていること、などの理由から、厚生労働省に対し参考として通知が行われました。



楠 好子
(寝屋川市)



榊原 壽幸
(富田林市)

(委員意見の要旨)

平成29年10月に行われた衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査（以下「国民審査」という。）では、期日前投票期間のはじめのころは、国民審査の対象となる裁判官の情報が何もない。最高裁判所のホームページでは、裁判官の心情や判決に関わった情報を見ることができるとのことであるが、そこまで見る人はまずいないと思う。国民審査公報を期日前投票開始日までに配布するべきではないか。

検討結果

国民審査公報の掲載文は国民審査の告示日に提出されることとなっており、法令上、期日前投票開始の日に国民審査公報が配布されるようにすることはできないが、「投票環境の向上方策等に関する研究会」において、期日前投票を行う者が増加していることを踏まえて、選挙公報の迅速な配布についての意見が示されており、国民審査公報についても、同研究会における議論の推移を見守る必要があると考えられるなどとして、業務上の参考資料とされました。

委員活動を通じて得られた意見を行政運営の改善に役立たせる貴重な手段！



平成29年度における大阪府内の委員意見の提出件数は19件でした。提出された委員意見はすべて総務省行政評価局の幹部会で報告され、必要に応じて局所、本省の順に関係機関等に意見聴取や実態調査を行い対応方針の検討を行っています。

●委員活動報告から

相談のあらまし	措 置 状 況	報告委員
雨が降ると歩道の陥没部分に水たまりができて、歩行ができない。	相談を受けた行政相談委員が現地を確認した結果を踏まえ、道路管理者に連絡したところ、陥没していた部分が修復されました。 (改善前) ⇒ (改善後)   その後、修復部については、他の部分と同じインターロッキングが施され、景観にも配慮されました。 	 谷口 裕洋 (大阪市東成区)
通学道路の道路標示「止まれ」の文字が消えかかっている。このままでは車の運転者が道路標示に気付かず事故になる恐れがあり、危険である。	相談を受けた行政相談委員が現地を確認した結果を踏まえ、道路管理者に連絡したところ、道路標示の書き換えが行われ、文字が見えやすくなりました。 (改善前) ⇒ (改善後)  	 寺辻 健治 (吹田市)
通学路の坂道に設置されている手摺の錆がひどく、触れない状態なので補修してほしい。	相談を受けた行政相談委員が現地を確認したところ、申出のとおり、全体が茶色に錆びている状況が確認できました。このため、役場に働きかけた結果、手摺の錆がきれいになり、持つことができるようになりました。 (改善前) ⇒ (改善後)  	 葛本 徹雄 (千早赤坂村)
通学路の集水溝開口部蓋とグレーチングに段差があって危険なので補修してほしい。	相談を受けた行政相談委員が現地を確認し、道路管理者に連絡しましたが、管理道路ではないとのことでした。更に調べてみると、日本郵政株式会社の敷地であることが判明したため、同社に連絡したところ、グレーチングが固定され、集水溝開口部蓋との段差が解消されました。 (改善前) ⇒ (改善後)  	 渡邊 達雄 (吹田市)

新任委員さん こんにちは!!

平成29年4月2日から30年5月1日までの委嘱委員さんからのひと言

氏名（担当区域）①趣味・特技・健康法等、②好きな言葉（座右の銘）、③最近印象に残ったことなど



はしもとかずまさ

橋本和正（豊中市）

- ①趣味：情報端末機器の設定（笑）
健康法：お昼寝
- ②笑う門には福来る
- ③小学校の入学式に参列したとき。
椅子から落ちる子、お話をじっと聞いている子、
そして居眠りしている子。とても微笑ましい時間
を過ごさせていただきました。



いしだ のぞむ

石田 望（豊能町）

- ①趣味：ドライブ、船釣り
健康法：犬との散歩
- ②なぜか成る
- ③中欧の夜景が、大変きれいだったこと。



もりかわまさゆき

森川昌幸（藤井寺市）

- ①趣味：定年を以てモーターバイクを卒業し2年前
から再びサイクリススポーツに興じています。
いまでもサイクリストの聖地「しまなみ海道」を
片道5時間弱で完走します。
- ②迷うことなく恐れずに
- ③私の担当区域には大小さまざまな古墳が点在し
ています。



特殊詐欺被害防止啓発記事

息子 を名乗った 詐欺の電話 に注意！

「変わった」と言われる前の息子さんの番号に
電話して確認すれば、防げるはずです！



カゼをひいて声がおかしい
携帯電話の番号が変わった

声が違うことをごまかします。
本当の息子に電話させません。

友人と会社の金で株を買ってバレた
不倫相手を妊娠させた

トラブルになっていると不安を
あおり、親心につけこみます。

弁護士と相談していて忙しい
事務所の人に取りに行ってもらう

駅近くの人気のない場所に誘導
して、お金を受け取ります。

＋ 3 か条！ 息子さんの本当の番号に電話するだけじゃない！



在宅中も留守番電話にすべし！

在宅中も留守番電話にして、電話に出るのは相手の声を聞いてから
にして、知らない人からの電話には出ないようにしましょう。

一度、電話を切るべし！

息子さんを名乗る電話でも、お金を要求する話をしてきたら、一度、
電話を切って、すぐに家族や友人、警察に相談しましょう。

家族の合い言葉等で撃退すべし！

家族の合い言葉や、家族しか分からない質問を決めておきましょう。

大阪府警察



「大阪経済の復権に向けて」

研修委員長 野 上 俊 二



平成30年1月30日(火)に地相協主催の研修事業が開催されました。今年の冬はことのほか寒く、研修当日の気温も3℃と寒さが厳しい一日となりました。その

寒さにも関わらず、113名もの委員に出席していただき、誠にありがとうございました。

29年度の研修事業は、講師に大阪市役所経済戦略局長の柏木 陸照(かしわぎ みちてる)氏をお招きし、「大阪経済の復権に向けて」と題したテーマで、私たちの住む大阪の経済動向に関して勉強しました。

柏木氏には、民間のご出身の局長ならではの斬新な切り口で、大阪の経済の特徴などについて分かりやすく解説していただきました。

イギリスのエコノミスト誌が昨年10月に発表した世界都市ランキングでは、大阪は、「世界で最も安全な都市第3位」、さらにライフサイエンス部門では、優れた医療制度や良質な医療サービスが提供されているため第1位に位置づけられるなど、大変ポテンシャルの高い都市として、世界の投資家の注目の的になっているとのお話をお聞きしました。

また、大阪を含む関西圏の人口は2,000万人以上であり、世界の都市圏と比べると、上海、北京やニューヨークに匹敵し、その面積も北京を上回る規模であり、世界的にみても大変魅力ある地域であるとのことであり、こうした大阪や関西の都市の規模や魅力に、長年住んでいながら気づけなかったことを少し恥ずかしく思いました。

大阪の強みは、①高度に整備されたインフラ、②高い人口密度、③製造業と商業地域の近接性、④関西という大きな後背市場、⑤チャレンジ精神の文化、⑥他地域から来阪した人や外国人に対する敷居の低さ（特に「大阪で道を聞くと、尋ねられた人が、いやな顔もせず、時には、道を尋ねた人の手を引いて道案内をしてもらえることもあるが、東京では知らない顔される場合がある。」とのお話が印象的でした。）、⑦強い郷土愛、であるとされました。

一方、弱みは、関西圏の京阪神が相互に無関心でまとまりがないことで、また、中小企業の比率が9割を超え高いことが特徴と分析されました。

こうした点を踏まえ、大阪の復権には消費や投資に向けたエネルギーと起爆剤としてのターニングポイント（万博や国際会議の誘致等の転換点）が必要とされました。

これからは我々の町「大阪」は世界一だという情熱をもっていきたいと思いました。



研修委員会

研修委員会副委員長 辻 谷 俊 吉



研修委員会では、4月に第1回委員会を開催し、研修委員長に野上俊二委員（中央区担当）を、副委員長には私（辻谷俊吉、泉南市担当）を、それぞれ選出するとともに、平成29年度の地相協研修会は講演とすることに決定し、次回の委員会において、講演講師・テーマの選定等について審議・検討することになりました。

第2回委員会において、各委員が講演テーマや講師の案を持ち寄り、検討した結果、講師には、大阪市経済戦略局の柏木陸照（かしわぎみちてる）局長をお願いすることを決定しました。

野上委員長から柏木局長に研修講師について依頼したところ、快く承諾いただいたとのことでした。しかし、柏木局長は大阪市の重要施策を担っており、大変多忙な方であるため、研修実施日を決めることが難しく少し困りました。

12月に入り、柏木局長のスケジュールを確定し、研修会を30年1月30日(火)の午前中に行うことが決まりました。研修会には、お陰様で113名の委員が出席し盛会のうち終了することができました。

研修会終了後に開催した第4回委員会において委員から出た反省事項として、今年度の講師が大変多忙の方で、キャンセルのおそれがあったにもかかわらず、代替の講師を検討していなかったことが挙げられます。

次年度以降の研修に関しては、研修委員会として不測の事態に対応できるよう万全の体制で臨みたいと考えています。

編輯委員会

編集委員会副委員長 今井 藤子



平成30年度もお蔭様で無事「あし」33号の発行に至りました。



編集委員会では、3月の
第一回委員会から7月上旬
までの数回にわたる記事の編集、校正作業が正
念場で、局のご協力も得て8月末発行の運びと
なります。その後、反省打ち上げ会を持ち、秋
には次号の記事を勧案して研修会を計画実行し
ます。以上が編集委員会の年間事業です。

毎回内容についてはマンネリ化しないよう興味のもてる記事を心掛けています。各委員会活動報告や、各支部研修会の報告から大阪地相協全体の活動や、委員皆様方ご活躍の様子が見えてきます。また『特集記事』や『ショート・ショート』のテーマについては頭をひねる所ですが、ご投稿下さった委員皆様方の人となりや個性が垣間見えて興味深いです。『私の住む町』も大阪府下33市9町1村のうち半数を超える市町村の「わが町自慢」が展開されてきました。また、『大阪あれこれ』第3回では「淀川舟運の歴史」を探りました。

近年、異常気象に悩まされていますが、今年6月、大阪北部では震度6という大地震に見舞われ、都市災害の問題点が数々浮彫りになりました。改めて防災対策にも焦点を当てながら取り組んでいかねばと考えています。

今後とも皆様方と共に、親しまれる機関誌「あし」を目指して頑張ってまいります。

相談業務委員会

相談業務委員長 土原直美



平成21年10月、大阪第一支部の天神橋筋商店街で第1回「暮らしと行政なんでも相談所」を開設して、今年で10年目を迎えます。地相協主催の相談所開設は全国でも初めてということで、

全相協の機関誌『季刊行政相談』にも取り上げられました。この間、評価局のお力も借りながら毎年各支部で「法律・登記・税金・年金・行政・男女共同参画」等の相談ブースを設けた相談所を開設してきました。

今年度は、11月箕面市で第11回目の相談所を開設させていただけることが、4月早々に決まりました。回を重ねるごとに、徐々に行政相談委員や各支部市区町村の事務局の皆さんのご理解・ご協力が得られるようになり「暮らしと行政なんでも相談」が地相協の事業として定着してきたことを実感しています。

相談所開設当日と、その1週間前には広報委員会や開催地支部の委員さんのご協力を得て、広報ティッシュやチラシを配布し、相談へのお誘いとともに行政相談制度及び行政相談委員制度の周知も行ってきました。

当委員会は委員長を中心に委員みんなが相談所開設という一つの目標に向かって取り組むことで、自然に委員相互の絆が深まります。また相談所開設終了後は毎回懇親会で集い、和気あいあいと話が弾み、お互いの労をねぎらうとても居心地のいい委員会と自負しています。



広報委員会

広報委員長 羽田清彦



広報委員会は、4月27日開催の第1回委員会に於いて、例年通り年3回の開催を予定としました。又、29年度第3回委員会時に委員各位より頂いた発言をもと

に、(1)地相協全体街頭キャンペーンの実施、(2)各支部街頭キャンペーンの実施、(3)行政相談出前教室・出前講座の実施、(4)広報物品の作成、(5)他の委員会との連携（相談業務委員会など）、(6)29年度委員会決算、30年度予算の確認、等の各項目の事業計画を決定致しました。毎年度、広報委員会は行政相談活動啓発を主旨とした予算ゆえ各委員から、「有効的な啓発ティッシュ配布を行い、受け取る方々が手間のない様（複数類の手渡し）にする。」「出前教室・講座での啓発品はLEDミニライトに特化しては。」との発言を頂きました。作成には29年度の配布実績を基として有効な活用に至る事も確認しました。委員会では所属11名の行政相談委員全員の発言を頂き、各支部活動状況を伝えて頂き協議会活動に反映すると共に評価局職員の方々からご指導を頂き、府民の方々への制度の認知と活用に理解頂ける広報活動になる様に努めて参ります。



ホームページ運営委員会

ホームページ運営委員会副委員長
渡 邊 美代子



行政相談委員として、幅広い活動に目を向けることができ、感謝を申し上げます。

かなり以前の事です、
誰しものがパソコンを自由に
使える状況ではありません

でした。今ではパソコンを利用して地域活動と同時に資料やチラシ、ポスター作りに、またメールでの連絡が増え便利になってきました。そんな中、行政相談委員として委嘱を受け、パソコン勉強会に参加して、数多くのパソコン技術指導をいただき現在に至っています。

大阪行政相談委員協議会は独自のホームページを立ち上げ、皆様からの活動報告をもとに、ホームページ運営委員会の委員により、編集作業をしています。またフェイスブックやツイッターにも掲載しています。

年度初めには新任委員さんを対象に、パソコン利用へのアンケート調査を行っています。啓発活動や出前講座で使用してもらう目的で、2年前にはホームページ運営委員会で制作しましたパワーポイントを利用したプレゼンテーションが出来上がった時の喜びはひとしおでした。皆さま、是非ともご活用ください。今では大阪地相協のホームページは近畿は勿論全国からも注目を浴びていると伺っています。

当委員会に所属されていない行政相談委員の皆さまも、パソコンを楽しく使え、地域活動でのご活用を期待しています。パソコン勉強会は月1回開催していますので、お気軽にご参加ください。お待ちしております。



男女共同参画委员会

男女共同参画委員長 岩井利春



男女共同参画基本法が制定されていることはご存知でしょうか。

基本法では、男女共同参画社会を実現するための5つの基本理念を定め、国、

地方公共団体、国民それぞれの責務を明らかにしています。

日本での男女共同参画への意識はまだまだ低く世界経済フォーラムが毎年公表している男女格差について、平成29年は、144カ国中114位で前年より3つ順位を下げています。

男女共同参画委員会は、委員研修をはじめ内閣府主催の研修にも積極的に参加し、近畿管内男女共同参画担当委員を招いて講演、現状の取り組み、今後の課題について意見交換を行いました。

相談業務としては、大阪総合行政相談所が行う男女共同参画相談（大丸百貨店心斎橋店）を月2回委員が輪番で出席し、暮らしと行政なんでも相談所、一日合同行政相談所において、男女共同参画相談を実施しました。

今後も、社会情勢の変化なども踏まえながら、だれもが男女共同参画を自分自身の生活にかかわる問題として捉え、理解を深めることができる効果的な啓発のあり方を研究し、実践してまいりたいと考えています。



大阪第1支部 —大阪起業家ミュージアムを 訪ねて—

松浦 隆行 (大阪市城東区)



平成29年11月7日、大阪第1支部研修会で大阪産業創造館（大阪市中心部）の中にある「大阪企業家ミュージアム」を訪れました。局からの参加者4名を含めて29名が参加しました。このミュージアムは大

阪を舞台に活躍した企業家たちのチャレンジとイノベーションを明治以降3つの時代ブロックに分けて紹介し、イノベーションが行われた産業分野別に展示紹介する施設です。

近代化のリーダーとしての五代友厚や松本重太郎、藤田伝三郎、カネボウの武藤山治、住友の広瀬幸平、阪急の小林一三、サントリーの鳥井信治郎、ナショナルの松下幸之助など、大阪を代表する100名を超える企業家の写真と業績が紹介されていました。よく知っている名前もあれば初めて聞いた比較的最近の企業家まで、幅広い分野に及ぶ非常に沢山の展示内容でした。大阪・日本の近代化を牽引した人々の層の厚さと、そうした企業家を生み出した大阪の歴史・風土の厚みを改めて感じさせられました。

江戸時代の俳人小西来山の有名な俳句—『お奉行の名さへ覚えぬ年暮れぬ』。大阪の町の人々の既存の権力や政治・中央の力をもものもしない、進取の気風や気概がこうした企業家を輩出してきたのかも---。阪神を応援する大阪人の気質にも通じるような気がしました。

(---私は、巨人ファンですが。)



大阪第2支部 —大和ハウス工業・ 総合技術研究所を訪ねて—

乾 敦子 (大阪市東住吉区)



大阪第二支部自主研修会は奈良県のJR平城山（ならやま）にある「大和ハウス工業・総合技術研究所」へ行きました。まず始めに春元支部長の挨拶があり、続いて角田局長の挨拶がありました。今年度の事例発表

は天王寺区の松本委員の行政相談をもっと知ってもらおう活動として「幼稚園での行政相談懇談会の開催」と題して、懇談会の経緯や開催方法、行政相談のPR等を話され、その中で事例を3例発表されました。次は生野区の西村委員の「日本郵便の国際郵便パンフレットの料金表について」の事例を発表され、韓国に品物を送る際、パンフレット記載の郵便料と実際の郵便料が異なって伝わることを話されました。

その後、館内の見学です。世界の家が展示されているコーナーでは、その国の気候・土地柄で同じ人間が住むのに、こうも違うのかな〜と思いました。

次に棟の違う「石橋信夫記念館」に行き、大和ハウス工業創立者の生い立ち、経歴など詳しく説明された年表や写真を見ました。

最後に建物の地震吸収柱の構造を見せて戴きました。昔の住居からは想像も出来ないくらい便利に快適に過ごせることを研究した大和ハウス工業の会社に感謝しつつ全員家路につきました。



北摂支部 一日赤血液センター見学—

上 田 文 章 (茨木市)



平成29年11月20日、評価局・市町職員を含め26名の参加を得て、茨木市で北摂支部自主研修会を実施しました。

第一部として「クレマーへの対応について」をテーマに事例研究を行いました。各委員や評価局において、日頃、どのように対応しているのか、どのような対応が有効であるかということを中心に、意見交換が行われました。もう少し時間があればと思われるほど活況のうちに終了し、この研修が今後の活動に少しでも役立てば幸いです。

第二部として、彩都（国際文化公園都市）の整然とした美しい街並みをマイクロバスの車窓から眺望するとともに、近畿管内から年間約86万人分の献血血液を受け入れ、検査・製剤業務が行われている「日本赤十字社近畿ブロック血液センター」へ向かいました。

センターでは、啓発ビデオの鑑賞、予防医学をテーマにした講演、実際の製剤工程の見学、日本赤十字社及び献血の歴史解説等、充実した内容で、参加者の皆さまにとって、献血の重要性を再認識する良い機会となったのではないでしょう。

研修の全日程が終了した後は、懇親会を開催し、親睦を深め楽しい時間を共有することができました。



日本赤十字社近畿ブロック血液センター
平成29年11月20日

河内第1支部 —いざという時に役立つ防災知識—

柅 亘 悟 (交野市)



平成29年11月17日、河内第1支部自主研修会を交野市役所において、実施いたしました。

市内で防災資器材を扱う(有)コバシ産業 代表取締役大橋史拓氏を講師にお迎えし、「いざという時に役立つ防災知識」をテーマに講演をお願いいたしました。

大橋氏は日本防災士大阪支部役員を務められ、ボランティア団体「近畿災害救助支援協会」代表として多くの災害現場（阪神淡路大震災・新潟県中越沖地震・東日本大地震等）で救援活動をされ、現場を知り、わかりやすく防災・減災を伝える防災士として活動されています。

講演内容は、

- ・ 迫りつつある大災害（南海・東南海地震）を減災へどうするのか？
- ・ 市民の方々は自助、共助、公助と言っても今一つ他人事である。
- ・ 共助とは。
- ・ 災害時のトイレ、非常食等に目を向け実例を挙げて説明。

当日、会場に防災資器材（トイレ、255mトイレットペーパー等）を展示していただき、資器材の説明もしていただきました。

本年度は、地相協から研修費の補助がありましたので、非常食、携帯トイレ等を各委員に配布いたしました。

相談事例発表として、交野市の平井正丈委員から「危険な歩道の整備について」平成29年6月に相談のあった事例として、市有地から土砂が流れ、歩道が砂まみれの状態で、自転車の転倒事故が何件も起きているとのことで、行政相談を通じて交野市に対応してほしいとの相談あり、交野市の道路河川課と協議の結果、9月中旬に側溝整備が施工され、安全対策が講じられたとの報告を受けました。



河内第2支部 —大阪府警察本部施設見学—

横 田 清 継 (羽曳野市)



平成29年11月15日、大阪府警察本部施設見学と、特殊詐欺の講演会という内容の研修でした。12市町村より26名の委員の参加がありました。

府警本部の施設見学では、大阪府警の歴史と現在の府警の体制等の説明を受けました。次に、通信指令室の見学でした。府下の110番通報を全てここで受付、各府下警察署と連携対応されていることに驚きました。次に交通管制センターの見学です。大きなスクリーンに府下の主だった交差点の現在の交通の様子が表示されており、交通状況が一目瞭然に見て取れました。出動中のパトカーの位置も確認できます。渋滞緩和のため信号機の制御もここからできるとのことでした。

次に、大阪府警特殊詐欺担当警察官から、オレオレ詐欺を主とする特殊詐欺の手口と、それに対応する注意点を講演していただきました。重要なことは、おかしいと思ったら、まず最寄りの警察署に連絡し、自分一人では絶対に対処しないこと。特に、自分だけは大丈夫という気持ちは持たないでと強調されました。

昨年大阪では、特殊詐欺により1597件、約37億円の被害が発生しているとのこと。家族や地域の身近な話題として取り上げ、情報を共有し、お互いに気をつけることの大切さを再認識した貴重な研修でした。



泉州支部 —和歌山市立博物館と 和歌山刑務所を訪ねて—

高 岡 一 平 (堺市美原区)



平成29年11月8日に、泉州支部自主研修会として和歌山市立博物館と和歌山刑務所を見学致しました。

まずは、最初の見学地である和歌山市立博物館は、郷土和歌山の歴史・文化遺産に関する市民の理解と認識を深め、教育・文化の発展に寄与する事を目的とした歴史系博物館です。この建物は1585年に和歌山城が築城され、城下町和歌山が拓かれて丁度400年目にあたる昭和60年(1985年)11月に開館致しました。

私の個人的な希望ではありますが、和歌山城と言えば徳川御三家の一つである紀州徳川家が何かと有名です。特に8代将軍徳川吉宗公の真実をもっと知りたかったのですが、学芸員の方の説明では、吉宗公の文献は殆ど残っていないとの事でした。残念です。

昼食は和歌山城に近く庭園の綺麗なあおい茶寮で美味しく頂きました。

次の見学地は和歌山刑務所で、女子刑務所らしく、外壁はライトグリーンに塗装されておりました。所長である女性刑務官に説明を受けながら施錠開錠の中見学させて頂きました。作業中の一人の女子受刑者の姿が目に残りました。今、子供や夫、身内の方々の事をどういう風に思っているのか、黙々と作業をしている姿がどこか寂しそうで、罪の重さを垣間見るひと時でした。

研修を終え、各々感じ方は違いますが、次の研修への期待を胸に、帰路につきました。



豊田 恭三 (大阪市此花区)



美術に興味を持ち出したのは20歳前の頃でした。美術雑誌や画集に目を通してヨーロッパの印象派やせいぜいピカソなど新しい流れを楽しんでいました。そ

んな折、1950年代に生まれたアメリカ現代美術のムーブメントが紹介され目にするようになりました。時系列で、まず**ポロック**に代表される「自由奔放に身体を動かしてその動きを感情のままに絵にする」アクションペインティングと呼ばれる抽象絵画です。ある批評家は「ついにタブローは画家の闘技場に化した」というようなものでした。

次に「ツンとすました鼻もちならない芸術を笑い飛ばしてやる」とした流れの一派でネオダダイズムと呼ばれるものです。印刷物、文字、木や布など使い道のないゴミのようなものとペインティングの組み合わせによって、芸術を云々する前にまず人間のあるがままの姿を表象した**ラウシェンバーグ**に衝撃を受けました。

その後、美術を消費財として割り切ったポップアートが現れ、**リキテンシュタイン**はエンターテイメントとしての存在感を示し、これまでお高くとまった純粋芸術への痛烈な皮肉としました。

この三人は、ヨーロッパ的な芸術が唯一とってきた私の権威主義と価値観をぶっ飛ばす打撃力を持っていました。同時に社会の様式や考え方が多様で時間の経過とともに増え、各人各様に持つものであると学びました。それから続く私の人生の節目に現れる「心に残る三人」と言えます。

春元 靖弘 (大阪市阿倍野区)



私の心に残る人は、大阪大学時代に薫陶を受けました、前田教授です。先生は、橋梁工学の授業以外に、私が社会人となる時に、学生の就職担当をされ、私の思いをも

とに、就職先のアドバイスをしていただき、大変御世話になった人であります。

授業では、土木技術者は、常日頃、時代に合わせた技術力をみがくと共に、職業人として、与えられた職業の意味を熟慮・理解し、高い志を持ち続けることが大切であるということを教わりました。

そこには、国民の安心・安全のためのインフラづくりを任された者は、失敗が許されないという自覚を持ち、最新の注意を払うことの大切さを教えられました。

また、土木学会に出席をし、その会議報告をした折に、君は、そこで、どういう意見をのべたのかを聞かれました。単なる会議報告だけでは無駄である。わざわざ東京まで出かけ、委員会に出席する限りは、自分の意見をのべることが役目であると教えられました。爾来、社会人となって、どの会議においても、自分の意見が言えるよう、あらかじめ準備・勉強をし、会議では他人の意見を聞くことが身に付くようになりました。

先生からは、土木技術者として生きるための、指針をいただき、本当に有り難く感謝しております。



岩井利春（島本町）



あなたは印象に残る人ですか、残らない人ですか。

印象に残る人は、第一印象や別れの際の行動、また、話し始めや、話の締めは相手の記憶に強く残ります。

反対に印象に残らない人は、待ちの姿勢であることが多く、消極的な印象を持たれるとともに、積極的な印象を持つ人と好対照です。

これまで、たくさんの人に出合ってきました。しかし、どれぐらいの人を覚えているでしょうか。今までも心に残る人はだれですか。

幼稚園から学生時代・そして社会人と歩んできた人生で、ふとした瞬間、印象に残る忘れられない人を思い浮かべ、懐かしく過去を回想し心の中に閉じ込めています。

文学の方でも心に残る文学者で、ドイツ文学を代表するヘルマンヘッセは、ノーベル文学賞を受賞し、数々の名言を残しています。

一例ですが、「愛されることは幸福ではない、愛することこそ幸福だ。」「救いの道は右にいが、左にいが見つけることはできない。それはあなたの心の中にある。」、一度、ヘルマンヘッセの文学世界へ入られてはいかがでしょうか。

心に残る人の仲間入りに「ありがとう」の言葉を忘れずにいたいと思います。



山本道隆（四條畷市）



こころに残った人、大正13年生まれ93歳、私の母親であります。終戦の翌年、昭和21年結婚し2男1女を産み育てました。

昭和37年、まだまだ女性ドライバーが珍しい時代ですが、運転免許証を取得しております。私は、そのおかげで色々な所へ連れて行ってもらい楽しい思い出もたくさんあります。

昭和44年、大阪万博の開催前夜の出来事です。「マイカーで行く九州一周の旅」近所の女友達と二人旅ですから、夫、子どもを家において出かけたのです。地図を片手に行き当たりばったりでしたが一週間で九州一周旅行を達成しています。

孫と毎日メールのやり取りをしたり、曾孫の学校行事に参加して、子どもたちの前で当時の小学校の様子を話しています。

太平洋戦争時には、城東郵便局に勤めており、昭和20年8月14日の大阪大空襲を体験しています。毎年、京橋駅空襲被災者慰霊祭に参拝しているのですが、昨年には空襲の体験者としてNHKの取材を受け当時の状況や難儀して帰宅した様子などを語り、ニュースで放映されました。

昨年は10年前に亡くなった夫を偲び、昭和20年6月に復員兵として帰還した和歌山県田辺港へ、孫や曾孫総勢20人で訪れました。地元の新聞社（紀伊民報）の取材を受け新聞の一面に掲載される等、毎日活発に充実した生活を送っています。

母には、いつまでも元気に長生きして貰いたいと願っています。

加 藤 光 男 (藤井寺市)



遠い思い出だが、長野へ旅行に行った時のこと。バスの中で知り合ったN氏が、今でも記憶の片隅に強くある。その人は、小柄だが登山が趣味で、車窓に広がる

北アルプスの山々も、いくつか登頂したそうだ。

「山頂って寂しい所なんだよ。滑落の危険もあるしね。高山の頂上は、岩と雪と雲しかない。そこへ突風の吹き上げに見舞われたり足許が崩れたり、常に危険がまわり付く。実は、登頂後こそ油断できない。」と言う。それでも、征服感・達成感を求めて、登山はやめられないらしい。

N氏と宿泊ホテルのラウンジで再会した時、趣味が高じて、アウトドア用品の開発を手掛けているという話になった。主にバックパックやシュラフ、タープ等で本格志向アイテムばかり。酒が進み、失敗談を交えた軽快な話しぶりに聞き入りながら、ふと気付いた。

「山頂は寂しく、危険」という話は、ビジネスの例えだったのだ。企業や組織のトップにのぼりつめると、相談相手は減り、判断を誤れば損害をこうむるリスクを伴う。周囲に足をすくわれるかも知れない。

当時、ある事業の企画に関わっていた私は、この例えに激しい衝撃を受けた。

思い返すと、雑談の軽口からヒントを得たと喜ばれ、驚いたこともあったし、逆に何気ないと思っていた一言で、相手の心を深く傷つけた時もあった。口は災いの元と言われるが、希望へのコンダクターにもなる。内容はともかく、過去に出会った誰かさんの“心に残る人”になっているのだろうか、と考えるのもロマンですね。

奥 野 ひろみ (岬町)



私にとって、はじめてお目にかかる方、縁あって何回もお会いする方、会いたいけれど、中々都合がつかず会えない方など、今までの人生で、その時々には別れ

ていく方、対する人、すべてが心に残る人達です。たぶんこれからも、出会いと別れがいっぱいあると思います。

子供の頃の家族との団欒、そして年月が経ち、祖父母そして父やおじおば達との死と共に、別れが多くなりました。ふっと、その人達の顔や姿や楽しかった語らいが、思い出されて、涙が出ることもあります。

仕事を退職したら、それまでできなかったことや、やりたい事が、たくさんみつかりました。この性格がまた、多くの人と出会うきっかけとなりました。

仕事をしている時は、専門的なことも多くあり、共に学ばせて頂いた人達も忘れられません。

現在、毎年、毎月出会ういろんな人達は、私にとって、なにかにつけて先生になる人であり、普段のちょっとした生活の中にも取り入れていける合理的な知識や工夫を教えてください。人それぞれの人生や考えを、受容しあう大切さを、再確認します。

私も人に、ちょっぴりでも感動してもらえ、自信のついた人生を送っていきたいと思い、そして誰かの心に残る人になりたいと思います。



石川 忠秀
(大阪市港区)



数年前二週間程入院した時に、休憩室にあった本を借りてベッドで退屈しのぎに、ジュール・ヴェルヌの『地底旅行』を読んだ。

この本は、154年前に書かれたにもかかわらず、実に面白かった。地質学の教授、その甥とガイドの3人が地底探検をする。

「入り口」はアイスランドの火山の噴火口、「出口」は地中海のシチリア島とイタリア本島の間にある火山島ストロンボリ、随分距離がある。トラブルに遭いながら、閉ざされた地底を突き進んでいく、物語の展開が面白く、化学的な記述もあり、一気に読んでしまった。

アイスランドの風景が目の前に広がる描写が素晴らしく、今でも自分の脳裏に残っている。

現在、アイスランドでは、火山の噴火口よりエレベーターで垂直に降りる火口見学ツアーがあり、イタリア・ストロンボリ島では、活火山の様子、流れ出る溶岩を直接見学できるツアーがある。両国とも、とても人気のある観光地となっている。

西村 譲治
(大阪市生野区)



『AI vs 教科書が読めない子どもたち』

AI＝人工知能が人間の仕事を全て奪ってしまうのか？という不安を抱えながら読み始めました。ただ、AIは万能ではなく、数値化し難い「読解力」や「コミュニケーション能力」などに難があるという。ならば、人間は何をなすべきなのか？子どもたちの教育に何が必要なのか？ヒントとなる一冊でした。

阪上 宏平
(池田市)



題名に惹かれ、佐藤愛子さんの『九十歳。何がめでたい』を手に取りました。

自身の体の変化・文明の進歩・新聞の人生相談等々について書かれたエッセイ集ですが、著者とほぼ同い年の母親のことを重ねながら読み進めました。

著者は、【人間は「のんびりしよう」なんて考えてはダメだと九十歳を過ぎてからわかりました】と書かれています。

定年退職して「のんびりしよう」と思っていた私ですが、この言葉を胆に銘じ、何事にもチャレンジしていこうと思った次第です。

讃岐 信子
(守口市)



現在2歳になる孫娘がいつも決まって本棚から持ってくるのは『だるまちゃんとてんぐちゃん』です。膝にのせて読み聞かせているうちに、気付けば私自身が“だるまちゃん”の世界に惹きこまれています。

先日、92歳で亡くなられるまで作品を書き続けたという、かこさとしさんの子どもたちへの大きな愛情、また願い・想いは、いつまでも絵本の中で生き続けるでしょう。

心より、ご冥福をお祈りいたします。

脇田 久
(太子町)



『幻坂』有栖川有栖を読んで

大阪市内は新しい街並み、古い街並みが混在し名所旧跡が至る所で発見出来ます。

サラリーマン時代、法円坂、後に移転した土佐堀の事務所から天王寺まで通勤時の街歩きを楽しんでいました。

大阪市内はほぼ平坦な街並みでしたが、松屋町筋から上町台地にさしかかり生國魂神社近くになると真言坂から逢坂までの天王寺七坂が現れ景色も雰囲気も違って大好きな場所でした。

有栖川有栖の『幻坂』はそれぞれの坂の不思議な物語が描かれて大変興味深いものでした。

櫻井 好美
(和泉市)



『犬の科学』 スティーブン・ブディアンスキー著 渡植貞一郎訳

7年前に市役所を定年退職してから読む本は、犬に関する本ばかりになりました。

その中でも、人が犬と「共生」してきた歴史に一番惹かれています。

5万年～10万年前の人と犬との出会い、そして犬が自然界から人間の社会を何故選んだのか。また、人も犬の能力を最大限に生かしてきた長い歴史。

人がホモサピエンスの時代に犬と共に生きてきたことを遺跡からもみることができます。

ホモサピエンスが現在まで生き延びてきたひとつの原因として、犬が傍に居たからだとも言われています。人と犬の助け助けられる関係は今でも私たちの生活に引き継がれています。犬とのアジリティの競技、ドッグセラピー、保護犬の活動が退職後の私の生活を豊かにしてくれています。

この本は、今までの犬に対する考え方を、科学的に観ることを教えてくれた本の一冊でもあります。

淀川舟運歴史探訪

編集委員 交久瀬 和広

淀川舟運歴史探訪は、平成29年11月13日(月)枚方市駅に集合し、京街道枚方宿を散策するところから始まった。当日は午前中から快晴で少し汗ばむぐらいの陽気であった。

枚方宿は、京都と大坂のほぼ中間に位置する交通の要衝であり、江戸時代には陸の街道だけでなく、街道とほぼ平行して流れる淀川を利用した水上交通の中継港としても繁栄した。

参勤交代の際には親藩や譜代など徳川家に縁故の大名が枚方宿で休泊した。中でも御三家のひとつ紀州徳川家の大名行列は、その格式と威光を感じさせる大行列であったため、多くの農民が見物に訪れるほどだったという。

現在、街の面影は所々で見られる程度だが、道標や案内看板は比較的多くあり、京街道の歴史を実感できる。枚方市駅南口を大阪に向いて歩くと、すぐに文政9年(1826年)建植と記された「宗左の辻」(東海道と岩船街道の追分＝分岐点)の道標がある。



宗左の辻



枚方宿の案内図

信号を渡りイオン枚方店の敷地内を歩いていくとビルの壁に枚方宿の案内図があった。その反対側に岡本町公園があり、ここにも京街道を思い起こさせるモニュメントや案内板が建てられている。

江戸時代、「ここはどこじゃと船頭衆に問えばここは枚方鍵屋浦／鍵屋浦には碇がいらぬ三味や太鼓で船とめる」と淀川三十石船唄に歌われたように、京街道の宿場町・枚方には、淀川

を上り下りする三十石船の寄港地として多くの旅籠があったという。

今回の舟運歴史探訪の集合場所が、枚方市が管理する鍵屋資料館で、昔の町家の特徴と典型的な船宿構造を残した建造物である。

江戸時代、京都伏見と大坂八軒家を結ぶ淀川水運は、天下の台所と呼ばれた大坂と大都会である京都を結ぶ物流に重要な地位を占めた。三十石船、二十石船など一千隻以上の大小様々な舟が行き交っていた。

このうち旅客専用であった三十石船は、夜と昼の一日二便、所要時間は下りが半日、上りは一日だったという。

「餅くらわんか、酒くらわんか・・・」などと言い酒や食べ物を売るくらわんか舟が名物となり、その様子は歌川広重(安藤広重)「京都名所之内 淀川」や十返舎一九「東海道中膝栗毛」にも描かれている。

枚方船着場から天満橋の八軒家浜船着場までの16.1kmの船旅を体験した。淀川に架かる橋はどれも長く、特色があり、見るものを楽しませた。見どころの一つが毛馬閘門で、パナマ運河と同様、淀川と大川(旧淀川)の水位差を調節するために、アクアライナーが1メートル以上下がるのを実感して閘門を通過した時はみんな、ハイテンションなりアクションであった。



大川に入ったアクアライナーは、終点の八軒家浜を通り越して天神橋、さらに右手に大阪市立東洋陶磁美術館などがある中之島公園を見ながら難波橋、梅檀木橋を越え、淀屋橋(高さがなくて通れない)の手前でUターンしてゴールの船着場に到着した。

桜並木もすっかり色づき、秋本番の一日を堪能した船旅であった。

私の住む町

MY TOWN 岸和田市



生まれ育った岸和田市以外に住んだことのない私が、岸和田の紹介をするのは、いささか気が引けるなあ・・・と思っています。いつつこの原稿をしたためています。

他の町に住んだことがないので、他の町と比較して客観的に岸和田を語れるのか疑問だからです。でも、岸和田市土着の住民の目から些か身びいきの内容になることも恐れずにこの記事を作成することをお許しいただきたいと思っています。

岸和田市の市域は南北17.3km、東西に7.6km、面積72.32km²と、大阪湾（茅渚^{ちぬ}の海）から和泉山脈に至る細長い市域で自然豊かな土地です。

少年時代は、我が家から海水パンツ一枚で海まで出掛け、浜で海水浴をしたり、城址に登り、走り回ったりと格好の遊び場に事欠かない町でした。

近代化・開発の波は岸和田にも押し寄せ、落雷で焼失した岸和田城が127年ぶりに昭和29（1954）年に復興再建され、昭和40年代には臨海部に木材コンビナートを始めとする工業地帯が造成されるなどの近代的街づくりが進められました。

昔日の岸和田はこの城址を中心に官公署や商店街、映画館、パチンコ店などのアミューズメント施設が集積し、泉州の中心として泉南地域や近隣の地域から、買い物客やアミューズメントを求める人達で、とても賑わいのある町でした。

その後、郊外に大型商業施設の進出や官公署が周辺地域に分散移転するなど、ドーナツ現象で中心市街地の商店街も空き店舗が多くなり、

池田 忠司（岸和田市）

中には商店街そのものがなくなった例もあります。

良きにつけ悪しきにつけ、時代の移り変わりとともに、岸和田の街が変わらざるを得なかった一方、変わらぬものとして、岸和田の「だんじり祭」に触れぬわけにはゆきません。

この祭りは、京都の祇園祭が町衆の祭りといわれていますが、少し性格が異なるとはいえ、岸和田の祭りも300年以上続く、町衆がつくりあげ、町衆が取り仕切る祭りという点に特徴があります。

旧市で執り行われる岸和田祭りは三郷の寄合い（祭りをを行う、昔の三つの郷で構成される運営組織）で取り決め事項や宮入の順番が決められ、「年番」（だんじりを運行する町から任命される“年当番”）が自主規制などすべてを取り仕切り、「年番長」は最高権威として祭礼の運営にあたっています。

もちろん、旧市だけでなく、郊外の市域で行われる祭りも、これと同様に運営されています。

このように、変わるものと変わらぬものを大切にしながら、岸和田の街がゆったりと変わってゆくのではないかと考えています。



私の住む町

MY TOWN 大阪市西区



私の住む西区は、北区、此花区、港区、大正区、浪速区、中央区に囲まれた町です。西区は大きく東西に地域の特徴が分かれ、東は商業の地として江戸時代より前から栄えた

歴史がある町で、西は鉄の加工などの近代の工業の技術を担う企業が多いところ。歴史に刻まれた施設が多い区ですが、私は生活基盤の西地区中心に紹介いたします。

わが町、西区九条には東西約1kmの九条新道商店街があります。最盛期は「西の心斎橋」と謳われるほどで活気がありました。古くは映画館、寄席、劇場などの娯楽施設も近くにあり、住民や工場で働く人そして、安治川や木津川の水運に関わる船員さんなどが利用していました。

今は往時の面影は無く、映画館シネヌーヴォが映画の良さを今も伝えています。商店街も当時の賑わいは無くなりましたが、時々テレビのバラエティショーで取材されています。その商店街の西の端には全国でも珍しい河底トンネル、安治川隧道があります。通称、安治川トンネルと呼ばれ、以前は車と人がエレベータに相乗りして川底のトンネルまで降り、川をくぐってまた相乗りで地上に出る珍しい河底トンネル設備で、鋼鉄製の箱の中に乗用車なら2台、トラックなら1台が人と一緒に上昇、下降するすごい設備でした。

しかし車両の大型化、排ガス問題、周辺地域の車両渋滞などから昭和52年車両トンネルが閉鎖、人と自転車のみが利用する現在のトンネルになりました。今でも向岸の此花区に渡る橋

足立 義昭（大阪市西区）

がそばにないので、多くの人が利用しています。

商店街の東の端には、今は埋め立てられた尻無川にかかる花園橋がありました。その西詰に明治36年に停留所ができ、築港（今の大阪港）栈橋とのあいだに市営電車初の路線が出来ました。その後明治41年には西区に市内でも早く、市営電車の東西を結ぶ長堀線と南北を結ぶ四つ橋線が出来たのです。今は無くなった花園橋の東にある木津川の千代崎橋を渡ると文教地区になり中央図書館、区民センター、小学校、建設中のこども園などの施設があります。

西区には戦後、区画整理によって道路の拡幅や新設が行われ、東西に延びる中央大通、長堀川を埋め立てて出来た長堀通、南北に延びるなにわ筋、新なにわ筋が大通りとして市民経済を支えています。この長堀通に昭和32年、旧日本住宅公団が地上11階、地下1階の集合住宅を建て、当時としては高層住宅がまだ珍しい大阪人の注目を集めました。下層には商店もあり、地元では、マンモスアパートと今でも呼んでいます。

当時はめずらしかった高層住宅も、今はタワーマンションと呼ばれ、西区でも多く建設され、人口の急激な増加により子育て世帯が増加し保育、文教施設の不足が問題になるとともに、高齢化社会の地域活動の課題にもなっています。西区は2018年度から「西区将来ビジョン」を策定し取り組む計画です。今までに経験したことのない急速な人口増加、高齢化の課題を住民も参加して解決することが求められています。



編 集 後 記

あし33号発刊にあたり、お忙しい中で寄稿頂きました皆様に感謝申し上げます。

今回、特集として「心に残る人」と、ショート・ショート「最近読んだ本」からは、それぞれの思いが誌面から伝わり、品格さえ感じられました。また、「大阪あれこれ」も3回目となり、今回は「淀川舟運歴史探訪」と題し、江戸時代 大阪と京都を結ぶ重要な物流の地を紹介しております。興味を持たれた方は是非体験なさってみてはいかがでしょうか。

今年は6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨災害、そして逆走した台風12号。身近に頻繁に発生する自然災害のもとには、為す術がなく、たくさんの人々がつらい思いをしており、今までに遭遇した事のない被害に遭っております。被災された皆様には謹んでお見舞い申し上げます。

近い未来、起こるとされている南海トラフへの恐怖をも考えると、今後、行政相談委員として何をしたら良いのか…。次年度号に思いを馳せています。

(河野順子記)

編集委員会コーナー

☆あし編集委員名簿☆

藤岡 晴美 (大阪第1)	
松浦 隆行 (〃)	
藤本 道昭 (大阪第2)	
西村 譲治 (〃)	
神林 久子 (北 撰)	
上田 文章 (〃)	
河野 順子 (河内第1)	委員長
交久瀬和広 (〃)	
西村 誠子 (河内第2)	
矢倉 芳彦 (〃)	副委員長
今井 藤子 (泉 州)	副委員長
竹中 義信 (〃)	

大阪行政相談委員協議会機関誌

「あ し」 第33号

発行日… 平成30年9月1日

発行所… 大阪行政相談委員協議会
大阪市中央区大手前4-1-67
大阪合同庁舎第2号館
近畿管区行政評価局
総務部行政相談課内
電話(06)6941-8358(直)
FAX(06)6941-8988

URL <http://osaka-gyouseisoudan.org>

まぐみみ大阪



総務省行政相談センター